

抗議文

八人文第129号
2012年12月10日

在本邦アメリカ合衆国大使館
特命全権大使
ジョン・V・ルース 閣下

日本国大阪府八尾市長
田 中 誠 太

この度、貴国がネバダ核実験場において、今月5日に、27回目の臨界前核実験を実施していたとの報道に接しました。

貴国の度重なる核実験は、核拡散防止の趣旨に反し、かつ世界の核軍縮の動きに逆行する行為であり、断じて容認できないものです。

これまでも、貴国は再三にわたり国際社会の抗議と中止要請を受けてきたにもかかわらず、それを無視し、これらの核実験を強行されたことは、「核兵器のない世界」を目指すとした貴国の考えや国際情勢の流れにも逆行しており、被爆国の自治体として激しい憤りを覚えます。

今回の貴国の臨界前核実験実施に対して厳重に抗議するとともに、今後全ての核実験を計画、実施することのないよう強く要請いたします。

さらに、国際社会の指導的役割を担う国として、核兵器開発の停止と核兵器廃絶に向けて努力されることを強く要望いたします。